

はじめに

昨年3月の東日本大震災は、未曾有の国難ともいえる惨禍をもたらし、わが国の社会・経済に深刻な影響を及ぼしています。また、欧州債務危機の深刻化、円高・デフレの長期化等により、日本経済と国・地方を通じた財政の見通しは一段と厳しさを増しております。

本市では、さらに徹底した行財政改革を断行し、財政基盤の強化に取り組んでいくとともに、市民に最も身近な基礎自治体として、都市ビジョンに掲げる「水と緑が魅せる心豊かな庭園都市」、「中四国をつなぐ総合福祉の拠点都市」という都市像の実現をめざして、様々な施策に取り組んでいます。

一方、この度の震災を受け、地域や社会における人々の「絆」が見直されています。市民の方と行政との協働による安全で安心な地域づくりを進めていくことがますます重要となっております。

この市民意識調査は、昭和59年から市民の皆様のご要望、ご意見等を市政に反映させる一手段として、皆様のご協力を賜り実施しております。このたびの第14回調査では、毎回継続して調査をしております「行政施策の満足度・重要度について」をはじめ、「住宅の耐震について」、「環境に優しいライフスタイルの実践について」、「男女共同参画について」など15項目にわたりご意見をお伺いいたしました。

この調査結果は、市民の皆様の貴重な声として、今後の市政運営の指標として有効に活用し、安全で、安心して暮らせる地域づくりを進めてまいりたいと考えております。

この調査にご協力をいただきました多くの市民の皆様に厚くお礼を申し上げますとともに、市政に対するより一層のご理解、ご協力をお願い申し上げ、発刊のごあいさつといたします。

平成24年2月

岡山市長 高谷茂男